

種ごとの情報公開範囲の検討について

現在実施している自然環境調査完了後、調査結果についての情報提供依頼があった際に、種ごとの公開する範囲について、ご検討をお願いいたします。

今回調査において新たに見つかった下記表の△にあたる種について、情報公開範囲の案をまとめました。また、前々回調査において見つかった下記表の△にあたる種の情報公開範囲について定めておりませんので、併せて案をまとめました。

表 自然環境調査における情報公開範囲の設定(前回調査)

情報の 精度	情報公開 範囲	植物			動物	
		環境省 RL 絶滅危惧 II類 もしくは 千葉県 RDB 要保護生物(C)		ラン科 及び ユリ科の 重要種	環境省 RL 絶滅危惧 II類 もしくは 千葉県 RDB 要保護生物 (C)	
		以上	未満		以上	未満
高	確認された地点が分かる情報 ・図面上に確認地点を明示等	×	×	×	×	×
中	確認された地域が分かる情報 ・地域別種リスト等	×	△	×	△	△
低	今回の調査全体で確認されたかどうか分かる情報 ・18 地域全体の確認種リスト等	○	○	○	○	○

※表中の記号の意味は以下のとおりである。

○…公開

△…自然環境調査検討委員会による選定を受けた種を除き公開

×…非公開

凡 例	
●	前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種
非	前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、 確認された調査地域について非公開とする種
△	前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、 確認された調査地域について公開とする種

次ページ以降において記載しています、非と△の印がついた種の情報公開範囲(案)について、ご検討をお願いいたします。

なお、確認された調査地域について非公開とした種の選定基準は以下のとおりです。

- ・植物は環境省 RL 絶滅危惧 II類もしくは千葉県 RDB 要保護生物(C)以上の種、ラン科及びユリ科の重要種
- ・前回調査において、委員指摘により非公開とされた種と同様の生態(生息環境)を持つ種
- ・マニア等により盗掘・採集の恐れのある種
- ・愛好家による写真撮影等の行為により、繁殖等に影響が及ぶ恐れのある種(主に鳥類)

植物

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				外来種選定基準				非公開
							①	②	③	④	①	②	③	④	
1	ミズニラ	ミズニラ	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i>	●				NT						●
2	ウラボシ	チャセンシダ	コバノヒノキンダ	<i>Asplenium anogrammoides</i>	●					D					
3		オシダ	オシダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i>	●					C					●
4	ヒノキ	ヒノキ	イブキ	<i>Juniperus chinensis</i> var. <i>chinensis</i>	●					(C)				●	△
5	スイレン	スイレン	コウホネ	<i>Nuphar japonica</i>	●					B					非
6	クスノキ	クスノキ	ニッケイ	<i>Cinnamomum sieboldii</i>	●				(NT)					●	△
7	センリョウ	センリョウ	センリョウ	<i>Sarcandra glabra</i>	●					(D)				●	●
8	オモダカ	オモダカ	サジオモダカ	<i>Alisma plantago-aquatica</i> var. <i>orientale</i>	●					B					非
9		ヒルムシロ	ヤナギモ	<i>Potamogeton oxyphyllus</i>	●					D					△
10			ササバモ	<i>Potamogeton wrightii</i>	●					D					
11	ユリ	ユリ	ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i> var. <i>auratum</i>		●									
12			コオニユリ	<i>Lilium leichtlinii</i> f. <i>pseudotigrinum</i>	●					C					非
13			アマナ	<i>Amana edulis</i>	●					D					●
14	クサスギカズラ	ラン	シラン	<i>Bletilla striata</i>	●				(NT)	(D)				●	△
15			エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	●	●			NT	D					●
16			ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>	●					D					●
17			キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	●	●			NT	D					●
18			ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i>	●					D					●
19			クゲヌマラン	<i>Cephalanthera longifolia</i>	●				VU	B					●
20			タシロラン	<i>Epipogium roseum</i>	●				NT	C					●
21	イネ	ガマ	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	●				NT	D					●
22			Sparganium属の一種	<i>Sparganium</i> sp.	●				*	*					●
23		ホシクサ	クロヒロハノイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon robustius</i> var. <i>nigrum</i>	●					C					非
24		カヤツリグサ	イトアオスゲ	<i>Carex puberula</i>	●					C					非
25			ヤブスゲ	<i>Carex rochebrunei</i>	●					C					●
26		イネ	オオニワホコリ	<i>Eragrostis pilosa</i>	●					D					△
27			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>		●									
28			ツルヨシ	<i>Phragmites japonicus</i>	●					C					非
29			オオアブラスキ	<i>Spodiopogon sibiricus</i>	●					D					△
30	ユキノシタ	カツラ	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>	●					B					非
31		スグリ	ヤブサンザシ	<i>Ribes fasciculatum</i>	●					B					●
32	マメ	マメ	マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i>	●					D					△
33	ブナ	ブナ	カシワ	<i>Quercus dentata</i>	●					(C)				●	△
34			ウバメガシ	<i>Quercus phillyreoides</i>	●					(B)				●	△
35		クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>	●					D					
36		カバノキ	アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>	●					D					
37			ハシバミ	<i>Corylus heterophylla</i> var. <i>heterophylla</i>	●					D					
38	キントラノオ	ヤナギ	イイギリ	<i>Idesia polycarpa</i>	●					(D)				●	△
39			オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i>	●					D					△
40	フトモモ	アカバナ	ウスゲチョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i> subsp. <i>greatrexi</i>	●				NT						
41	アブラナ	アブラナ	コカイタネツケバナ	<i>Cardamine kokaiensis</i>	●				NT				●		△
42			イヌナズナ	<i>Draba nemorosa</i>	●					C					非
43	リンドウ	アカネ	ハクチョウゲ	<i>Serissa japonica</i>	●				(VU)					●	△
44	シソ	オオバコ	カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>	●				NT						
45		シソ	ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>		●									
46			コムラサキ	<i>Callicarpa dichotoma</i>	●					C				●	△
47			ヒメナミキ	<i>Scutellaria dependens</i>	●					D					△
48	キク	キク	センダングサ	<i>Bidens biternata</i> var. <i>biternata</i>	●					D					△
49			カントウタンボポ	<i>Taraxacum platycarpum</i> var. <i>platycarpum</i>		●									
計	19目	28科	49種		45種	6種	0種	0種	13種	39種	0種	0種	1種	9種	38種

注1. 種名、科の配列は、山ノ内崇志・首藤光太郎・大澤剛士・米倉浩司・加藤 将・志賀 隆。（2019）「維管束植物和名チェックリストver. 1.10」に主に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。なお、植栽・逸出種と思われる種については、選定基準記号に（）をつけて重要種としてカウントしない。

- ①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天:特別天然記念物、天:天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種
- ③「第5次レッドリスト（植物・菌類）の公表について（お知らせ）」(2025年、環境省)
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「千葉県レッドデータブック 植物・菌類編2023年版」（2025年、千葉県環境生活部自然保護課）
X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物
- ⑤今回指標種
●:該当種
- *Sparganium（ミクリ）属の一種は、「千葉県の自然誌」によると県内には、オオミクリ、ナガエミクリ、ヒメミクリ、ヤマトミクリ、ミクリの5種あるとされる。
種ごとの重要種カテゴリーは以下の通り、

県内ミクリ属の重要種カテゴリー			
種名	学名	環境省 RDB2025	千葉県 RDB2023
ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	NT	D
オオミクリ	<i>Sparganium erectum</i> var. <i>macrocarpum</i>	VU	B
ナガエミクリ	<i>Sparganium fallax</i>	NT	A
ヒメミクリ	<i>Sparganium japonicum</i>	NT	A
ヤマトミクリ	<i>Sparganium subglobosum</i>	VU	A

- 注3. 外来種等の選定基準は以下のとおりである。
- ①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)
特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物
- ②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)
外:国外外来種、内:国内外来種
定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種
緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種
- ③外来種
●:「日本の外来種全種リスト－侵入生物データベース」における定着している種に主に従った。
- ④植栽・逸出種
●:スギ等の植林された種もしくは植栽されたものが逸出した種
一部逸出:コムラサキは過年度リストによると「St. 15の夏季にハンノキ林で確認された以外のものは逸出種の可能性がある。」とある
- 注4. 公開、非公開種については以下のとおりである。
- :前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種
- 非:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種
- △:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種
- 植栽・逸出は△とした。

哺乳類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	モグラ	トガリネズミ	ジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>	●					D	
2	ネズミ	ネズミ	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	●	●				D	
計	2目	2科	2種		2種	1種	0種	0種	0種	2種	0種

- 注1. 種名、科の配列等は、主に「種の多様性調査(専門家調査)対象種一覧」(1997年、環境省)に従った。
- 注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。
- ①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天:特別天然記念物、天:天然記念物
 - ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種
 - ③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群
 - ④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)
X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物
- 注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。
- : 前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種
 - 非: 前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種
 - △: 前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

鳥類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	カモ	カモ	ヨシガモ	Mareca falcata	●					B	△
2			スズガモ	Aythya marila	●					D	
3			ホオジロガモ	Bucephala clangula	●					B	
4	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	Cuculus poliocephalus	●					C	
5	ツル	クイナ	バン	Gallinula chloropus	●					B	
6			オオバン	Fulica atra	●					C	
7			ヒクイナ	Zapornia fusca	●				NT	A	非
8	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	Tachybaptus ruficollis	●					C	
9	チドリ	チドリ	コチドリ	Charadrius dubius	●					B	
10		シギ	チュウシャクシギ	Numenius phaeopus	●					C	△
11			イソシギ	Actitis hypoleucos	●					A	
12			クサシギ	Tringa ochropus	●					C	
13		カモメ	オオセグロカモメ	Larus schistisagus	●				NT		
14			コアジサシ	Sternula albifrons	●				VU	A	非
15	ペリカン	サギ	ダイサギ	Ardea alba	●					D	
16			チュウサギ	Ardea intermedia	●				NT	B	△
17			コサギ	Egretta garzetta	●	●				B	
18	タカ	タカ	ツミ	Accipiter gularis	●					D	
19			ハイタカ	Accipiter nisus	●				NT	B	
20			オオタカ	Accipiter gentilis	●				NT	C	
21			サシバ	Butastur indicus	●	●			VU	A	非
22			ノスリ	Buteo japonicus	●					C	
23	フクロウ	フクロウ	フクロウ	Strix uralensis	●					B	△
24	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	Alcedo atthis	●	●				C	
25	キツツキ	キツツキ	コゲラ	Yungipicus kizuki		●					
26	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	Falco peregrinus	●			国内	VU	A	
27	スズメ	モズ	モズ	Lanius bucephalus		●					
28		カラス	カケス	Garrulus glandarius	●					D	
29			シジュウカラ	Parus cinereus		●					
30		ヒバリ	ヒバリ	Alauda arvensis	●	●				D	
31		ツバメ	ツバメ	Hirundo rustica		●					
32		ヨシキリ	オオヨシキリ	Acrocephalus orientalis	●					D	
33		セッカ	セッカ	Cisticola juncidis	●					D	
34		セキレイ	キセキレイ	Motacilla cinerea	●					B	
35			イカル	Eophona personata	●					D	
36		ホオジロ	ホオジロ	Emberiza cioides	●					C	
37			クロジ	Emberiza variabilis	●					D	
38			オオジュリン	Emberiza schoeniclus	●					D	
計	12目	21科	38種		34種	8種	0種	1種	8種	33種	7種

注1. 種名、科の配列等は、主に「日本鳥類目録 改訂第8版」（2024年、日本鳥学会）に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IIA類、EN:絶滅危惧IIB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)
X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)
特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物

②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)
外:国外外来種、内:国内外来種
定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種
緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●:前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種

非:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

爬虫類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	カメ	イシガメ	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	●				NT	A	
2		スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus japonicus</i>	●				DD	不足	
3	有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>	●					D	
4		トカゲ	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>	●	●				B	
5		カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	●	●				D	
6		ナミヘビ	ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	●					B	
7			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	●					D	
8			シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	●					C	
9			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari</i>	●					D	
10			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	●					D	
11			クサリヘビ	<i>Gloydius blomhoffii</i>	●					B	
計	2目	7科	11種		11種	2種	0種	0種	2種	11種	0種

注1：種名、科の配列等は、主に「日本産爬虫両生類標準和名リスト」（2024年3月11日、日本爬虫両棲類学会）に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

- ①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内：国内希少野生動植物種 国内(特一)：特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二)：特定第二種国内希少野生動植物種 緊急：緊急指定種
- ③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)
EX：絶滅種、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)
X：消息不明・絶滅生物、A：最重要保護生物、B：重要保護生物、C：要保護生物、D：一般保護生物、不足：情報不足

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

- ：前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種
- 非：前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種
- △：前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

両生類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo formosus</i>	●					C	
2		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	●	●				A	
3			トウキョウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	●	●			NT	B	
4		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	●					D	
計	1目	4科	4種		4種	2種	0種	0種	1種	4種	0種

- 注1. 種名、科の配列等は、主に「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(2024年3月11日、日本爬虫両棲類学会)に従った。
- 注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。
- ①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天:特別天然記念物、天:天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種
- ③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)
X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物
- 注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。
- :前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種
- 非:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種
- △:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	トンボ	イトトンボ	ホソミイトトンボ	<i>Aciagrion migratum</i>	●					B	
2		サナエトンボ	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i>	●				NT	B	●
3		ヤンマ	アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i>	●				NT	B	
4			クロスジギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>	●					D	
5			カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>	●					B	●
6			ヤブヤンマ	<i>Polycanthagyna melanictera</i>	●					D	
7		オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>		●					
8		トンボ	ハラビロトンボ	<i>Lyriothemis pachygastra</i>	●					B	
9			チョウトンボ	<i>Rhyothemis fuliginosa</i>	●	●				D	
10			アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>		●					
11	カマキリ	カマキリ	オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>		●					
12	バッタ	バッタ	ツマグロバッタ	<i>Stethophyma magister</i>	●					D	△
13	カメムシ	コオイムシ	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	●				NT		
14		ナガカメムシ	ヒメジュウジナガカメムシ	<i>Tropidothorax belogolowi</i>	●					D	
15		カメムシ	ルリクチブトカメムシ	<i>Zicrona caerulea</i>	●					C	
16		ツノカメムシ	オオツノカメムシ	<i>Acanthosoma giganteum</i>	●					D	
17	コウチュウ	ハンミョウ	コハンミョウ	<i>Cicindela specularis</i>	●					C	
18		オサムシ	ヒメマイマイカブリ	<i>Carabus(Damaster) blaptoides oxuroides</i>	●					D	
19			オオサカアオゴミムシ	<i>Chlaenius pericallus</i>	●				DD	C	
20			オオキベリアオゴミムシ	<i>Epomis nigricans</i>	●					D	△
21		ゲンゴロウ	マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>	●			国内(特二)	VU	B	●
22		ガムシ	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	●				DD	D	●
23		クワガタムシ	ノコギリクワガタ	<i>Prosopocoilus inclinatus</i>		●					
24		タマムシ	ヤマトタマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>		●					
25		ホタル	ヘイケボタル	<i>Aquatica lateralis</i>	●	●				C	
26		ハムシ	キアシネクイハムシ	<i>Donacia bicoloricornis</i>	●					C	
27			スゲハムシ	<i>Plateumaris sericea</i>	●					C	
28	ハチ	コンボウハバチ	ホシアシブトハバチ	<i>Agenocimbex jucunda</i>	●				DD		△
29		コマユバチ	ウマノオバチ	<i>Euurobracon yokohamae</i>	●				NT	C	
30		セイボウ	オオセイボウ	<i>Stibum cyanurum pacificum</i>	●				DD		△
31		ドロバチ	キボシトックリバチ	<i>Eumenes fraterculus</i>	●					C	△
32		スズメバチ	モンスズメバチ	<i>Vespa crabro flavofasciata</i>	●				DD		△
33	シリアゲムシ	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ	<i>Panorpa japonica</i>	●					D	△
34	チョウ	セセリチョウ	ギンイチモンジセセリ	<i>Leptalina unicolor</i>	●				NT		
35			ミヤマチャバネセセリ	<i>Pelopidas jansonis</i>	●					C	
36		アゲハチョウ	ナガサキアゲハ	<i>Papilio memnon thunbergii</i>		●					
37		シジミチョウ	ミヤマシジミ	<i>Plebejus argyrognomon praeterinsularis</i>	●				EN		非
38		タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>		●					
39			コムラサキ	<i>Apatura metis substituta</i>	●					C	
40			ゴマダラチョウ	<i>Hestina japonica japonica</i>	●					C	△
41			アカボシゴマダラ名義タイプ亜種	<i>Hestina assimilis assimilis</i>		●					
42		ヤガ	コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i>	●				NT		
計	8目	30科	42種		34種	10種	0種	1種	13種	27種	13種

注1. 種名、科の配列等は、主に日本産野生生物目録-本邦産野生動植物の種の現状-無脊椎動物編Ⅱ」（1995、環境庁）に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)

特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物

②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)

外:国外外来種、内:国内外来種

定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種

緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●:前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種

非:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

魚類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	●				EN	C	
2	コイ目	コイ科	ギンブナ	<i>Carassius</i> sp.	●					D	●
3			アブラボテ※2	<i>Tanakia limbata</i>	●				NT		△
4			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	●					D	
5			ツチフキ※2	<i>Abbottina rivularis</i>	●				EN		△
6		ドジョウ科	ドジョウ類※1	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i> sp.complex	●				(NT/DD)		●
7		フクドジョウ科	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	●				EN	C	●
8	ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	●					B	●
9	スズキ目	ハゼ科	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	●					D	
計	4目	6科	9種		9種	0種	0種	0種	4種	6種	6種

- 注1. 種名、科の配列等は、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和5年度生物リスト)」(2023年、国土交通省)に従った。
- 注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。
- ①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天:特別天然記念物、天:天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種
- ③「環境省レッドリスト20の公表について」(20年、環境省)
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編29年改訂版」(29年、千葉県環境生活部自然保護課)
X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物
- 注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。
- :前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種
- 非:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種
- △:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種
- ※1 ドジョウ類は「ドジョウ」または「キタドジョウ」のいずれかであるが、確認個体が雌であり、同定形質が不明瞭であったため「ドジョウ類」とした。
なお、③の選定基準において「ドジョウ」はNT、「キタドジョウ」はDDに該当する。
- ※2 アブラボテ、ツチフキは国内移入種と考えられるため、公開とした。

底生動物

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
								①	②	③	④	
1	腹足綱	新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	●	●			VU	D	
2				ヒメタニシ	<i>Sinotaia histrica</i>		●					
3		汎有肺目	モノアラガイ科	モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i>	●				NT	A	△
4				タテボシガイ	<i>Nodularia nipponensis</i>	●					D	
5		マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ	<i>Corbicula leana</i>	●				VU	A	△
6				ヌマエビ科	ミゾレヌマエビ	●					A	●
7				テナガエビ科	テナガエビ	●					D	
8				スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	●					D	
9				サワガニ科	サワガニ	●					C	●
10				モクズガニ科	モクズガニ	●					D	
11	昆虫綱	トンボ目	イトトンボ科	セスジイトトンボ	<i>Paracercion hieroglyphicum</i>	●					B	●
12			ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i>	●				NT	B	非
13				カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>	●					B	●
14			サナエトンボ科	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i>	●				NT	B	●
15				オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	●					B	非
16			オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>		●					
17			トンボ科	アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>		●					
18				マイコアカネ	<i>Sympetrum kunkeli</i>	●					D	
19		カメムシ目	コオイムシ科	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	●				NT		
20		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	<i>Cybister chinensis</i>	●			国内(特二)	VU	X	非
21				マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>	●			国内(特二)	VU	B	●
22			ミズスマシ科	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	●				NT	C	●
23			コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	<i>Haliphus sharpi</i>	●				VU	B	●
24			ガムシ科	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	●				DD	D	
25			ゾウムシ科	ウキクサミズゾウムシ	<i>Tanysphyrus brevipennis</i>	●					B	●
計	2綱	8目	19科	25種		22種	4種	0種	2種	11種	21種	14種

- 注1. 分類、配列等は、主に「河川水辺の国勢調査 令和6年度生物リスト」（令和6年、水情報国土データ管理センター）に従った。
- 注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。
- ①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)
特天:特別天然記念物、天:天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)
国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種
- ③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)
EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)
X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物
- 注3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。
- ①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)
特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物
- ②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)
外:国外外来種、内:国内外来種
定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種
緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種
- 注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。
- :前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種
- 非:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種
- △:前々回調査あるいは今回新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種